

ご不要になった記憶買取ります、壊れていてもかまいません、  
汚れていてもかまいません、どんなものでも回収します。

## モモイロコウサク #2

# GREAT WASH



### 【キャスト】

新井 笙太 (劇団 N-Z)  
安藤 麻実子  
石井 かほる (劇団新和座)  
中村 守之  
みなみ 新  
山中 善紀  
他

### 【スタッフ】

作： 石山 和彦  
演出： 山中 善紀  
映像： 南 新一郎・若松 三容子  
音楽： 久米 貴  
照明： 菅 勝治・川俣 亜弥  
音響： 山部 俊文  
振付： 原田 拓巳  
筆耕： ひろ たえみ  
進行： エアポート  
協力： 田淵 英生  
制作： モモイロコウサク

●日時：2023年 6/2(金)～6/4(日)

6/2(金) 開演 19:15

6/3(土) [昼] 開演 14:00 [夜] 開演 19:00

6/4(日) 開演 15:00

※受付は開演の45分前～ / 開場は開演の30分前

●会場：プロト・シアター 東京都新宿区高田馬場 3-38-3

\*JR/東西線「高田馬場」駅より徒歩約13分  
\*東西線「落合」駅より徒歩約10分  
\*西武新宿線「下落合」駅より徒歩約7分



●料金：4,000円 ※前売当日共・日時指定・全席自由

●予約：CoRich チケット

<https://ticket.corich.jp/apply/237035/>



【お問合せ】 [momoirokk@gmail.com](mailto:momoirokk@gmail.com)

【ホームページ】 <http://www.momoirokk.com/>

【YouTube / FaceBook】

「モモイロコウサク」で検索してみてください。



# ガルパン

アニメ「ガールズ & パンツァー」の略称。パンツァー (panzer) はドイツ語で戦車のこと。下着のことではない点に留意されたい。主人公たちが通う女子高校は茨城県の港町に設定されていることから、ファンがこの町に殺到するいわゆる聖地巡礼が流行した。

# スナック

名前がひらがなだとその店は老舗のような気がする。駄洒落を漢字にしてしまった系の、ちょっと古くなった看板を見ると、創業時のママの気負いと後悔を思っ切なくなる。港町のスナック「磯磯」は今宵もはりきって営業中。



# 一殺多生

旦那という言葉の語源はサンスクリット語「ダーナ」であり、お布施をする人を意味した。「一殺多生」はさる戦前のテログループが唱えた暗殺コンセプトだが、その言葉もまた仏典から採られたという。衆生の誤解を招いたとすれば申し訳無い。

# デトックス

胡散臭い毒抜き、毒消しのこと。昭和のテレビとともに少年期を過ごした私共は、毒抜きと云えば「毒蛇に噛まれた女性の足の噛み跡を吸って毒をペッと吐き出すヒーロー」を思い出す。人工呼吸と並ぶエロチシズム。



# 瞼の母

世界恐慌の嵐が吹き荒れる 1930 年に発表された長谷川伸の人気戯曲。博徒・番場忠太郎は、幼いころに生き別れになった母親との再会を期すが…。滋賀県米原市にはこの物語にインスパイアされて建立された地蔵がある。聖地巡礼ツアーの先駆けなのか？

# 修理固成

古事記で描かれる日本の国土創生シーンの言葉で「この漂える国をつくろい固めなせ」の意味。そう命じられたイザナギとイザナミが、まだ天と地の区別もなかったスモーギー状の空間を剣でかき回したら島ができたぜという神話。

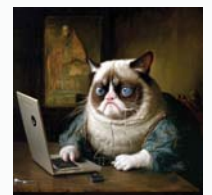


# サマリヤ人

新約聖書には盗賊に襲われた怪我人を助けたサマリア人のエピソードがあり、善きサマリア人は隣人愛を象徴する言葉になっている。なお映画「男はつらいよ」最終話「寅次郎紅の花」で、寅さんは阪神淡路大震災のボランティアとして活動している。

# ミーム

インターネット上で画像やテキスト、動画が広がり、人々の意識に影響を与える現象や文化のこと。元々は脳から脳へと伝わる文化の単位 / 要素の概念だがネットの普及によって顕在化。英語では meme と書くので一見可憐な印象だが、どっこいあなどれない。



★本公演の振付担当 原田拓巳がディレクターを務める  
Asia meets Asia のご紹介 <http://www.a-m-a.tokyo>

Asia meets Asia アジア現代舞台芸術交流活動

アジアの観光地は人気だが私たちはアジアを知らない。1997 年開始以来、東から南西中央アジアまで 18 地域からの舞台人を東京に招き交流活動<公演、ワークショップ、シンポジウム、共同創作公演>を継続してきた。不可視のアジアが見えてくる。時に彼らは言った「空腹なのに、演劇どころじゃない」。アジア現代舞台芸術の使命が強く問われてくる。近年は「アジアの抵抗と希望」をテーマに据えての共同創作<Unbearable Dreams>(2000 年より)を展開しながらアジア各地での公演活動を目指す。近々の活動予定: 4/22(土) トルコ・シリア地震被災者支援チャリティー クルド映画上映会 【お問合せ】info@a-m-a.tokyo

